
銚田・大洗広域事務組合
新ごみ処理施設整備・運営事業
落札者決定基準

令和5年4月

銚田・大洗広域事務組合

目 次

第1章 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2章 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3章 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	7
第4章 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5章 提案書に関するヒアリング	9
第6章 審査結果等の公表	9

第1章 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

銚田・大洗広域事務組合新ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「銚田・大洗広域事務組合新ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、銚田・大洗広域事務組合（以下「組合」という。）が本事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者が行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、3頁の図に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

組合は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載している入札参加者が備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

銚田・大洗広域事務組合新ごみ処理施設事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 提案書の定量化審査

委員会は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

組合は、入札書に記載された入札金額（消費税及び地方消費税を含まない入札金額）が入札書比較価格（消費税及び地方消費税を含まない予定価格）を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

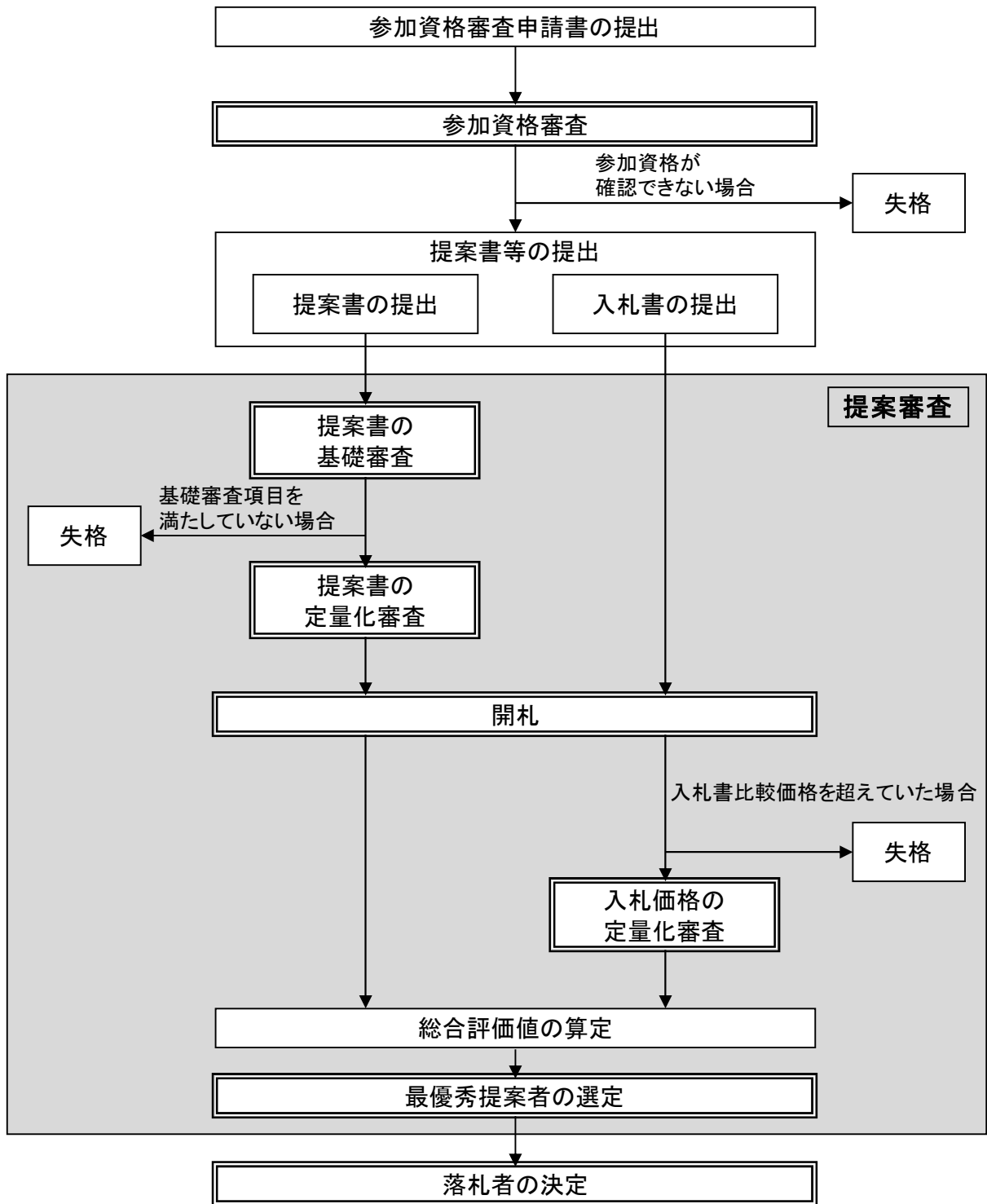
委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

キ 落札者の決定

組合は、委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※最優秀提案者を選定する委員会の事務は図中網掛け部分

図 1 - 1 落札者決定の手順

第2章 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」を参照のこと。

第3章 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準をすべて満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、組合が本事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、組合が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、表3-1のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 提案書の定量化審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

審査項目	細目	NO.	配点
1 事業方針に関する事項			2点
(1) 本事業の実施方針		1	2点
2 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項			46点
(1) 循環型のまちづくりに寄与できる施設			7点
ア 資源化	① 資源化量、残渣量	2	2点
イ 意識啓発	① 見学者対応及び環境学習計画	3	2点
ウ 景観	① 周辺環境に融和するデザイン	4	3点
(2) 周辺環境における環境負荷の低減が可能となる施設			8点
ア 環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組み	5	2点
イ 環境負荷低減	① 地球温暖化対策	6	2点
ウ エネルギーの有効活用	① 省資源、省エネルギー、発電効率及び余剰電力量	7	4点
(3) 安全、安心を確保し、安定処理が継続できる施設			31点
ア 信頼性、安定稼働	① 処理システムの信頼性	8	5点
	② 基本性能の維持及びメンテナンス	9	4点
	③ 日常の運営・維持管理	10	3点
	④ トラブルの未然防止及び事後対策	11	3点
イ 災害への備え	① 災害時の安全確保	12	3点
	② 火災・爆発対策	13	3点
ウ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	14	2点
	② 屋内配置動線計画	15	3点
エ 設計・施工	① 施工計画	16	2点
オ 運営・維持管理	① 組織体制・人員配置	17	3点
3 事業計画に関する事項			12点
(1) 経営計画・事業収支計画			3点
ア 事業収支/継続性担保	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方	18	3点
(2) リスク管理方法			2点
ア リスクの管理及び対処方法	① リスクへの対処方法に関する考え方	19	2点
(3) 地域貢献			7点
ア 地域経済及び地域社会への配慮	① 地元企業の活用と地元雇用	20	4点
	② 地域への社会貢献	21	3点
4 入札価格に関する事項			40点
(1) 入札価格		22	40点

(2) 提案書の定量化審査に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.0

イ 各審査項目の評価点については、委員会の各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数点以下第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格の定量化審査においては、入札価格（様式集、様式第14号に記載する金額をいう。）について、次の算定式①により得点を付与する。また、得点は、小数点以下第3位を四捨五入した値とする。

なお、入札価格が定量化限度額以下の場合、当該入札参加者の入札価格の定量化審査の得点は40点満点とする。

算定式①【入札価格の定量化審査の得点算定式】	
○最低入札価格 > 定量化限度額 の場合	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$	
○最低入札価格 ≤ 定量化限度額 の場合	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \frac{\text{定量化限度額}}{\text{入札価格}}$	
入札価格が定量化限度額以下の入札参加者の入札価格に関する得点は40点満点	

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式②により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式②【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術提案に関する得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$$

第4章 提案書の定量化審査において審査する点

委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。なお、各項目については、審査の視点に対して、各入札参加者の同種施設における過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案を高く評価する。

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点

審査項目			No.	審査の視点	配点	
大	中	小	細目			
1 事業方針に関する事項					2点	
		(1) 本事業の実施方針	1	・本事業の特性を踏まえ、事業の目的について適切に理解した上で、事業実施に当たっての基本的な考えが的確であることを期待する。 ・周辺地域や地元に関わられた廃棄物処理施設としての整備・運営の事業方針が明確であることを期待する。	2点	
2 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項					46点	
(1) 循環型のまちづくりに寄与できる施設					7点	
	ア	資源化	① 資源化量、残渣量	2	・各施設において回収される資源物について、資源化量の最大化に期待する。 ・各施設から生じる残渣量(焼却残渣、不燃残渣等)の最小化に期待する。 ・各施設から生じる残渣の削減について、設計面及び運営面からの計画性と実効性を期待する。	2点
	イ	意識啓発	① 見学者対応及び環境学習計画	3	・子ども、高齢者、障がい者など、見学者の年齢や立場等に配慮した環境学習プログラムや、見学者に対応した見学ルート、引率・説明方法、見学窓の配置等について、計画性と具体性を期待する。 ・見学設備及び環境学習プログラムに対し、社会の変化に即応した対処や方策に期待する。	2点
	ウ	景観	① 周辺環境に融和するデザイン	4	・デザインコンセプトが明確であり、コンセプトの設定根拠とデザインとの整合性を期待する。 ・敷地南側からの眺望において違和感や圧迫感を抑えたデザイン及び緑化計画であるなど、周辺環境と調和した景観となることを期待する。	3点
(2) 周辺環境における環境負荷の低減が可能となる施設					8点	
	ア	環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組み	5	・排ガス基準を確実に遵守するための対応について、実効性と妥当性を期待する。 ・騒音・振動、悪臭について、プラント設備の稼働に伴う周辺環境への影響を極力防止するための方策の実効性と妥当性を期待する。	2点
	イ	環境負荷低減	① 地球温暖化対策	6	・地球温暖化対策に寄与する二酸化炭素排出量の最小化を期待する。 ・その他、カーボンニュートラルの実現に向けた積極的な取り組みを期待する。	2点
	ウ	エネルギーの有効活用	① 省資源、省エネルギー、発電効率及び余剰電力量	7	・各施設における使用電力削減等の省エネルギー対策について、設計面、運営面の取り組みについて計画性と実効性を期待する。 ・自然エネルギーの有効活用等その他有効な省エネルギー対策の提案を期待する。 ・電力系統への接続条件を踏まえたボイラ蒸気条件設定及び定格発電出力、発電効率の最大化に妥当性を期待する。 ・運営時の使用電力の削減、稼働炉数の考え方や電力系統への接続条件を踏まえた制御のノウハウによる余剰電力量の最大化に期待する。 ・その他、余剰電力の利活用方法について積極的な提案を期待する。	4点
(3) 安全、安心を確保し、安定処理が継続できる施設					31点	
	ア	信頼性、安定稼働	① 処理システムの信頼性	8	・各施設の処理システムの信頼性向上の取り組みとして、設備構成、設置基数(予備機)、AI・IoT・ICTなど最新技術の採用等について、豊富な設計・施工実績に基づいた設備面の充実を期待する。 ・各施設の処理能力及び処理条件について、計画性と妥当性を期待する。 ・各施設において、計画ごみ質や計画処理量の季節的変動、経年的変動への対応力、維持管理費用の増加や発電電力量の低下防止について、設計面の創意工夫を期待する。	5点
			② 基本性能の維持及びメンテナンス	9	・各施設における維持管理の容易性について、計画性と妥当性を期待する。 ・30年間の使用を前提とした、事業期間中の効率的な更新整備や保全管理を充実するストックマネジメントの考え方に基づいた施設の長寿命化対策について、計画性と実効性を期待する。 ・30年間の使用を前提とした、事業終了後10年間の運営コスト抑制のための方策について、妥当性を期待する。	4点
			③ 日常の運営・維持管理	10	・エネルギー回収型廃棄物処理施設の施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱等を踏まえた作業環境、マテリアルリサイクル推進施設における作業環境(暑さ・寒さ対策等を含む。)の確保について、計画性と妥当性を期待する。 ・施設利用者に対する安全確保に対して、設計面及び運営面からの計画性と妥当性に期待する。	3点
			④ トラブルの未然防止及び事後対策	11	・災害、緊急時において、迅速かつ確実に対応できるような事業継続計画の妥当性を期待する。 ・緊急避難時における見学者、施設利用者及び作業員の安全確保方策について、計画の妥当性を期待する。 ・建設時及び運営時におけるトラブル・不具合に対する対応(協議、確認方法、費用負担)について妥当性を期待する。	3点
	イ	災害への備え	① 災害時の安全確保	12	・地震、火災、停電等の予期せぬ災害による人身事故、機能障害等の防止や見学者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・ヒューマンエラーによる一次災害・二次災害を防止する機能やシステム、ルールの構築に期待する。	3点
			② 火災・爆発対策	13	・各施設における火災・爆発に対する事前・事後対応について、計画性と妥当性を期待する。 ・マテリアルリサイクル推進施設では、特にリチウムイオン電池を原因とした火災が多発していることを踏まえた対策について、計画性と妥当性を期待する。	3点
	ウ	配置動線計画	① 屋外配置動線計画	14	・車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・住民にとって分かりやすく、不要な周回を必要としない車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・年末等の繁忙期における車両集中に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・多様な搬入・搬出車に対し、安全、快適かつ円滑な計量システムの構築を期待する。	2点
			② 屋内配置動線計画	15	・プラントホームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。 ・施設全体を通して各諸室や機器の配置について、安全面、運転・維持管理面等から計画性と妥当性を期待する。	3点
	エ	設計・施工	① 施工計画	16	・建設期間の確実な遵守に対し、具体的な工事工程とそれを実現するための創意工夫に実効性と妥当性を期待する。	2点
	オ	運営・維持管理	① 組織体制・人員配置	17	・組織体制及び運営管理体制において、各々の役割分担が明確であり、適切な人員配置であることを期待する。 ・組織体制における働き方改革や男女雇用機会の均等化に係る取り組みについて、妥当性を期待する。	3点
3 事業計画に関する事項					12点	
(1) 経営計画・事業収支計画					3点	
	ア	事業収支/継続性担保	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方	18	・事業期間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 ・長期にわたる事業継続性の担保、運営事業者の財務リスクの最小化に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。	3点
(2) リスク管理方法					2点	
	ア	リスクの管理及び対処方法	① リスクへの対処方法に関する考え方	19	・リスク顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化を考慮するリスク管理方針及びリスク管理体制に計画性と実効性を期待する。 ・セルフモニタリングの実施内容、頻度、報告内容等について、計画性と実効性を期待する。 ・付保する保険内容について妥当性を期待する。	2点
(3) 地域貢献					7点	
	ア	地域経済及び地域社会への配慮	① 地元企業の活用と地元雇用	20	・本事業の実施に関して地元企業の活用と現地調達への配慮について計画性と実効性を期待する。 ・本事業の実施に関して地元雇用への配慮について計画性と実効性を期待する。	4点
			② 地域への社会貢献	21	・地域への社会的貢献策及び周辺住民との信頼関係の発展に向けた取り組みの実効性を期待する。 ・周辺住民との信頼関係の確立方法及び安心感の醸成のための運営面の工夫について、妥当性を期待する。 ・管理棟(会議室)の利活用方法や地域還元施設の整備など、周辺住民に対する配慮や創意工夫について、実効性と妥当性を期待する。	3点
4 入札価格に関する事項					40点	
		(1) 入札価格		22		40点

審査の視点に示す用語の定義は以下のとおりである。
「計画性」: 課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する
「実効性」: 求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する
「妥当性」: 提案内容そのものが適切かどうかを判断する

技術点 60点
価格点 40点
計 100点

第5章 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者に対して個別に通知する。